

条件付き特定外来生物と 外来生物法について

令和5年度動物取扱業責任者研修会

はじめに

日本の外来種対策

環境省では、日本の生態系等に被害を及ぼす又は及ぼすおそれのある外来種について、規制や防除、理解促進等に取り組んでいます。

環境省 > 自然環境局

文字サイズ 標準 大 特大

2023年6月1日よりアカミミガメ・アメリカザリガニの規制が始まりました！

> 外来種問題を考える > 注目の外来種 > 2023年6月1日よりアカミミガメ・アメリカザリガニの規制が始まりました！

▼「条件付き特定外来生物」とは？

▼アカミミガメとアメリカザリガニを「条件付き特定外来生物」に指定する理由

▼規制内容について

▼飼育の継続が困難な場合について

▼普及啓発資料

▶規制内容の詳細と手続き・Q&A

▶飼養等基準

アカミミガメとアメリカザリガニは、2023年6月1日より「条件付き特定外来生物」に指定されました。

→ 指定に関する政府の閣議決定について



1

規制開始後も、一般家庭でペットとして飼育しているアカミミガメ・アメリカザリガニは、これまで通り飼うことができます。申請や許可、届出等の手続きは不要です。

アカミミガメ・アメリカザリガニが寿命を迎えるまで



2

アカミミガメ・アメリカザリガニを池や川などの野外に放す行為は、罰金の対象となります。適切な飼育を行わずに力

- ・アカミミガメ
- ・アメリカザリガニ

→ 「条件付き特定外来生物」に指定

本講義では

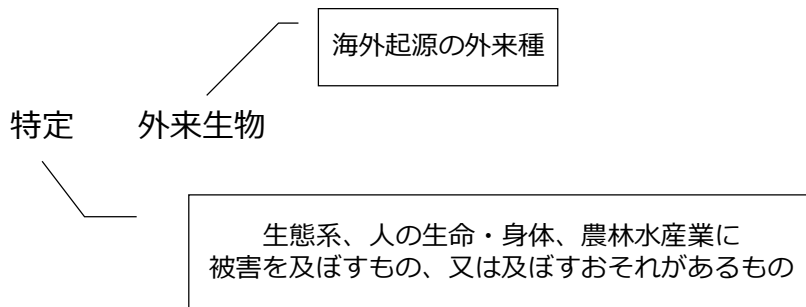
- ① 特定外来生物とは
- ② 条件付特定外来生物とは
- ③ 条件付きとした理由
- ④ 規制内容
- ⑤ 現在、飼養している場合 について説明し、

動物取扱業者から市民への啓発の促進を目的とする

特定外来生物とは

外来生物法に基づき国が指定した生物

(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)



特定外来生物の飼養、栽培、保管、運搬、輸入といった
取扱いの規制と防除等を行っている

特定外来生物の例



ヌートリア

分布



毛皮養殖で盛んに輸入
後にまとまって**遺棄**されたと言われている

■ 生態系に関わる被害

水生植物の大量捕食、水鳥などと餌資源をめぐり競合関係が生じる可能性

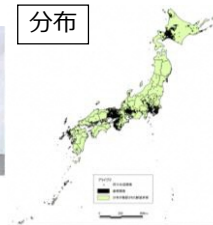
■ 農林水産業に関わる被害

食害や岸辺への巣穴により稲・畑の根菜に大きな被害を及ぼしている



アライグマ

分布



ペットとして人気種となり流通、飼育が難しいため**遺棄**されるケースが多い

■ 生態系に関わる被害

捕食対象が非常に幅が広く、北海道では固有在来種の捕食

■ 農林水産業に関わる被害

北海道では農作物に対する深刻な被害が報告されている

特定外来生物の例



カミツキガメ

分布



過去にペット用に大量流通、販売
大型・攻撃性で飽きられる、持て余される

■ 生態系に関わる被害

様々な生物を捕食するため、定着地域では魚類や両生類等に大きな影響

■ 人の生命又は身体に関わる被害

捕獲時の咬みつき等の被害が想定

■ 動物愛護管理法：特定動物に指定



ウシガエル

分布



食用として世界各地に導入され定着
ヨーロッパ諸国、韓国などで輸入禁止

■ 生態系に関わる被害

昆虫やザリガニの他、小型の哺乳類や鳥類、爬虫類、魚類までも捕食
京都市の深泥池ではクサガメの幼体を捕食した記録もあり

特定外来生物の例

魚類



ブルーギル

昆虫



セイヨウオオ
マルハナバチ

植物



オオキンケイギク
山形市内にも生息

令和5年9月1日現在、
**哺乳類25種、鳥類7種、爬虫類22種、
魚類26種、昆虫類27種**などが指定

詳細については
環境省日本の外来種対策[特定外来生物等一覧](#)参照

特定外来生物の規制内容

- ① **飼養等（飼育、栽培、保管および運搬）が原則禁止**
→研究目的などで、基準を満たす施設を持っているなど、特別な場合には許可されることがある
- ② **輸入の原則禁止**
→許可者のみ可能
- ③ **野外へ放つ、植える及びまくことが原則禁止**
→許可者のみ可能
- ④ **譲渡し、引渡し（販売含む）などが禁止**
→許可者同士でのみ可能
- ⑤ **個体識別等の措置を講じる義務**
→許可者は個体等にマイクロチップを埋め込むなどの義務がある

※外来生物法の許可は動物愛護管理法の許可とは異なるので注意

違反したらどうなるか

- 特定外来生物は、たとえば野外に放たれて定着してしまった場合に
人間の生命・身体、農林水産業、生態系に対してとても大きな影響を与える
- 取り返しのつかないような事態を引き起こすこともあるので、違反内容によっては**非常に重い罰則**が科せられる

分類	行為（対象：特定外来生物）	罰則（懲役または罰金）	
		個人	法人
輸入関係	許可なく輸入した場合	・ 3年以下 または ・ 300万円以下	・ 1億円以下
	許可なく輸入した場合（※未判定外来生物）	・ 1年以下 もしくは ・ 100万円以下	・ 5千万円以下
販売関係	許可を受けていない者に対して販売や配布をした場合	・ 3年以下 もしくは ・ 300万円以下	・ 1億円以下
飼養関係	許可なく飼養等をした場合（販売・配布目的）	・ 3年以下 もしくは ・ 300万円以下	・ 1億円以下
	許可なく飼養等をした場合（愛がん（ペット）等の目的）	・ 1年以下 もしくは ・ 100万円以下	・ 5千万円以下
	偽りや不正をして飼養等の許可を受けた場合	・ 3年以下 もしくは ・ 300万円以下	・ 1億円以下
放出関係	許可なく野外に放ったり・植えたり・まいたりした場合	・ 3年以下 もしくは ・ 300万円以下	・ 1億円以下

条件付特定外来生物とは

外来生物法に基づき特定外来生物に指定された生物のうち、
通常の特特定外来生物の規制の一部を当分の間、
適用除外とする（規制の一部がかからない）生物の通称

現在 **2種** が指定



▲アカミミガメ



▲ミドリガメ



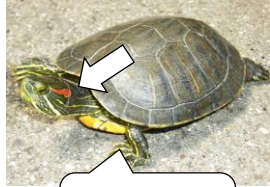
▲アメリカザリガニ

※他の外国産ザリガニは全種すでに
特定外来生物（適用除外なし）に

写真：環境省HPより

耳（と呼ばれる部分）が赤くないアカミミガメもいる

□ 亜種ミシシippアカミミガメ



いわゆる
アカミミガメ

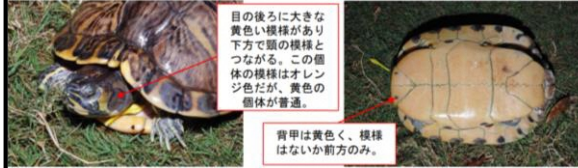


目の
後ろの
赤斑は
消失

雄成体の
前足の爪は長い。

黄色い模様が消滅して黒っぽくなり、
甲板が黒く鋭どられる。

□ 亜種キバラガメ



目の後ろに大きな
黄色い模様があり
下方で腹の模様と
つながる。この個
体の模様はオレンジ
色だが、黄色の
個体が普通。

背甲は黄色く、模様
はないか前方のみ。

□ 亜種カンバーランドキミミガメ



目の後方の斑紋が黄色い。

腹面は黄色く、
褐色斑が並ぶ。

この2亜種も**条件付き特定外来生物**に指定

環境省：特定外来生物同定マニュアルより抜粋

野外に定着したアカミミガメの影響

・雑食性

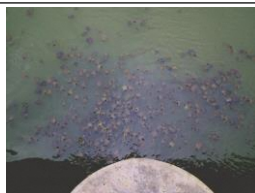
藻類や水草、水生昆虫、エビ、貝類、魚類など様々な生物を採食する
他のカメ類の卵を食べる習性もある

・昼行性で日光浴を好む



生態系への被害

イシガメなど**在来種の生育場所を奪う**
捕食される生物の生息環境に影響を与える



写真：平成26年瀬戸川
(明石市HPより)

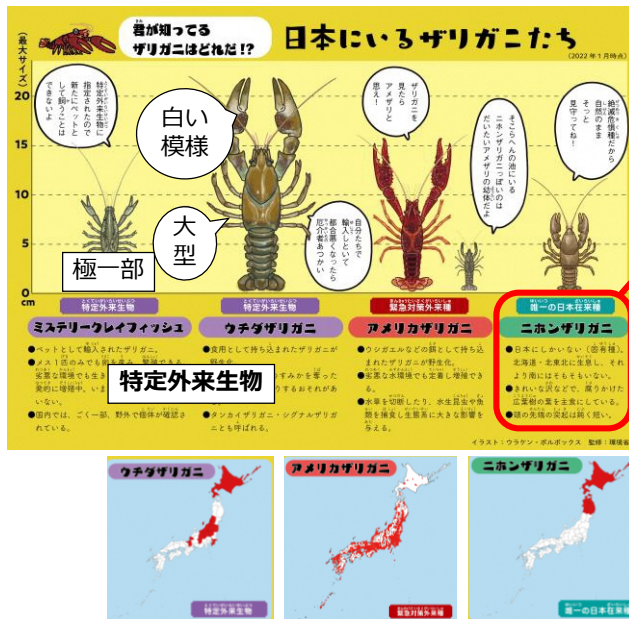
農業への被害

レンコン畑のレンコンの新芽**食害**
鑑賞用ハス、ジュンサイ、ヒシの**食害**



写真：篠山城跡南堀
(丹波篠山市HPより)

日本の野外に生息するザリガニは↓4種



山形県にも生息

ニホンザリガニ
唯一の在来種
絶滅危惧種

令和5年1月～
特定第二種国内希少
野生動植物種に指定
(他、ゲンゴロウなど)

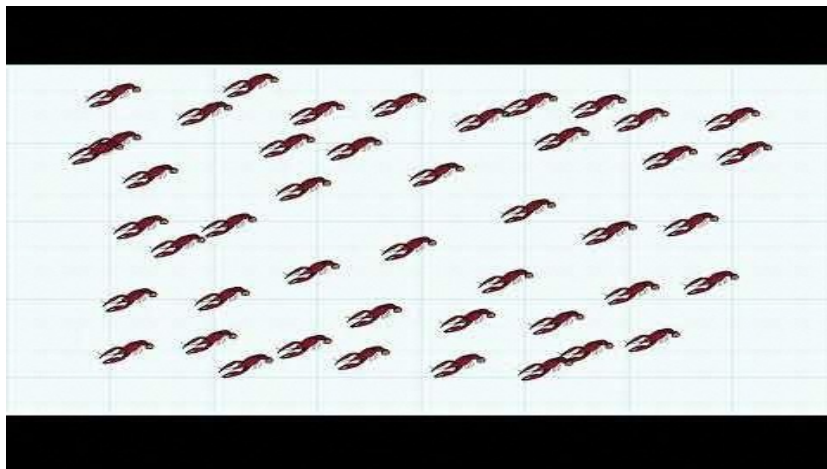


販売・購入の禁止
販売目的の捕獲禁止

→罰金・罰則あり

アメリカザリガニの導入経緯、生態系への被害について

入れない! 捨てない! 拡げない! STOP! アメリカザリガニ



環境省 作成 (2022年4月14日)

③条件付きとした理由



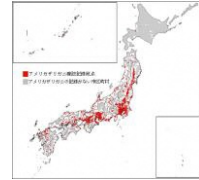
全国における飼育推定数（2019）

約110万世帯
約160万匹



全国における飼育推定数

約65万世帯
約540万匹



全都道府県で
生息確認

特定外来生物として飼養等を急に禁止にした場合・・・

放出増加



生態系等への被害↑

そのため、**条件付**特定外来生物に指定

④規制内容

適用除外

外来生物法第4条：飼養等（※1）の禁止
第8条：譲渡し等（※2）の禁止

に関する一部



捕獲



一般家庭での
飼育



少数相手への
無償譲渡

販売・頒布目的の飼養等×

※1「飼養等」とは、飼養、栽培、保管、運搬を指す

※2「譲渡し等」とは、譲渡し、譲受け、引渡し、引受けを指す
販売・頒布は譲渡し、購入は譲受けに該当する

④規制内容



放出

※捕獲し**すぐにその場で放す**こと
(キャッチアンドリリース)は
規制対象ではない

※生餌にして釣りをすることは×



販売・頒布・購入

広く配ること

販売・頒布目的の飼養等×

特定外来生物と条件付き特定外来生物における規制内容の比較

アカミミガメ・アメリカザリガニの規制の概要



	飼養等 ^{※1}		輸入	譲渡し等 ^{※7}		放出
	※1 飼養、栽培、保管又は運搬を指す。			※7 譲渡し、譲受け、引渡し、引受けを指す。		
特定外 来生物 (適用除 外なし)	<p>×</p> <p>(許可者^{※2}のみ○。飼養等基準を満たすことが必要)</p> <p>※2許可の目的は、学術研究、展示、教育、生業の維持等の目的に限る。生業の維持目的での許可は指定前から営まれていた業活動に限られる。養がん・鑑賞目的での許可は指定前から飼養等されていた個体に限られる。</p>		<p>×</p> <p>(許可者^{※2}のみ○)</p>	<p>×</p> <p>(許可者^{※2}間で許可の数量の範囲内ならば○^{※8})</p> <p>※8養がん目的での許可者が譲受ける場合は除く。</p>		<p>×</p> <p>(許可者^{※12}のみ○)</p> <p>※12許可の目的は、防除の推進に資する学術研究の目的に限る。</p>
条件付特 定外來生 物 (通称) ※アカミミ ガメ・アメリ カザリガニ	販売・頒布 ^{※3} の目的	その他の目的	<p>×</p> <p>(許可者^{※6}のみ○)</p>	販売・購入 ・頒布	その他の目的 ^{※11}	<p>×</p> <p>(許可者^{※12}のみ○)</p> <p>違反時の罰則 ・3年以下の懲役 ・300万円以下の罰金</p>
	<p>×</p> <p>(許可者^{※2・4}のみ○。飼養等基準を満たすことが必要)</p> <p>※3商業的目的での繁殖を行う場合は、生きていない状態での販売・頒布を含む。 ※4やむを得ず飼えなくなった個体の新しい飼い主探しのための頒布は事前届出で可能</p>	<p>○</p> <p>(許可不要。ただし、業として行う場合^{※5}は飼養等基準を遵守する場合に限る)</p> <p>※5ある者の同種の行為の反復的継続的遂行が、社会通念上、事業の遂行と見ることができ程度のものである場合を指す(水族館、学校等での飼養等を想定)</p>		<p>×</p> <p>(許可者^{※2}間で許可の数量の範囲内ならば○^{※4・8・9・10})</p> <p>※9卸売業者が水族館、学校等に販売するケース等を想定。 ※10飼育動物の生き餌にするためのアメリカザリガニの購入は事前届出で可能</p>	<p>○</p> <p>※11頒布に当たらない無償での譲渡し等を想定。</p>	
該当条項	法第4条、施行令附則第2条第1・2項、施行規則第2・3条		法第7条	法第8条、施行令附則第2条第3項、施行規則第2・3・11条		法第9条

※ 外来生物法に基づく防除に係る捕獲等や放出に伴う場合又は省令で定める場合は上記の限りではない。

⑤現在、飼養している場合

□ 一般家庭でペットとして飼育しているならこれまで同様に飼養可能

→**寿命を迎えるまで大切に飼育**してください

申請や許可、届出等の手続きは不要

□ 適切な飼育を行わず自力で逃げ出した場合も**違法**となることも

→逃げ出さないような容器で適切に飼育してください（次スライド参照）



□ もしも飼えなくなった場合、友人・知人・団体等に**譲渡**する

→無償であれば申請や許可、届出等の手続きは不要

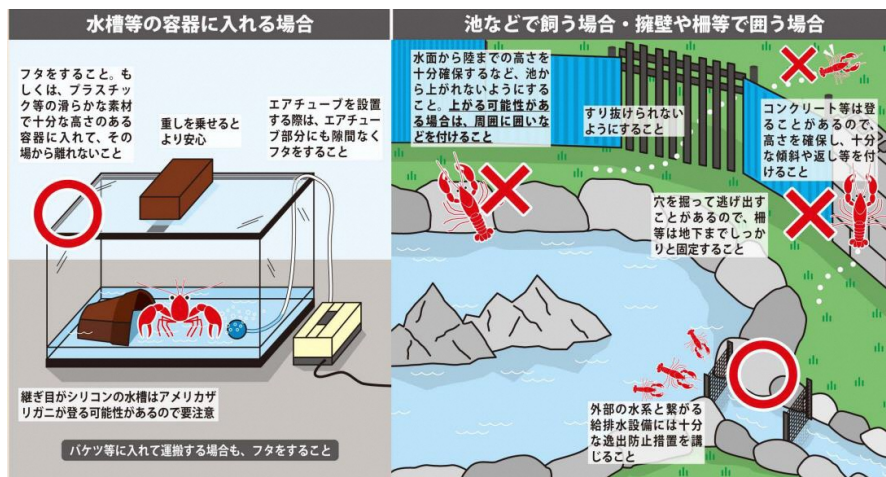
（環境省HP掲載）引取業者一覧→



アメリカザリガニを飼養する場合

① 容易に壊れない丈夫な施設で飼養すること

② 施設内に登って逸走可能な構造物・樹木等がないこと

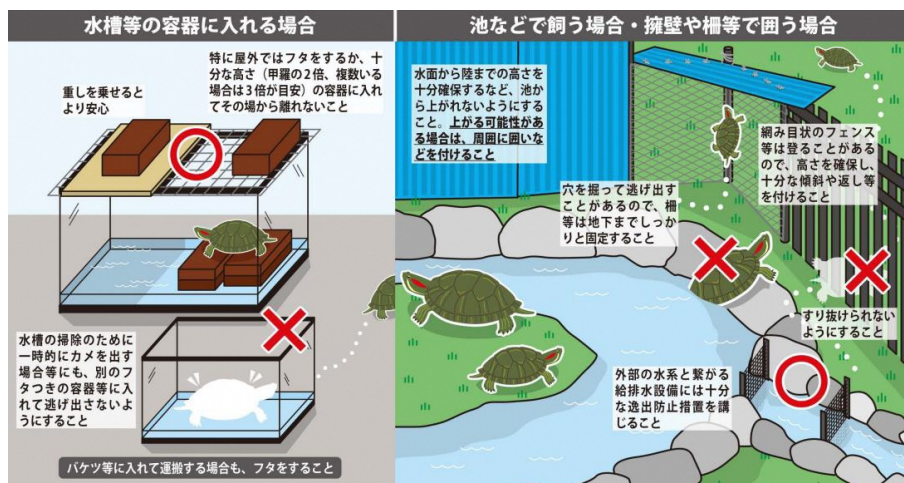


業として行う場合には**飼養等基準**を守る必要がある



アカミミガメを飼養する場合

- ① 容易に壊れない丈夫な施設で飼養すること
- ② 施設内に登って逸走可能な構造物・樹木等がないこと



業として行う場合には**飼養等基準**を守る必要がある

